

北陸ブロック母と女性教職員の会 開催!

8月21日(金)・22日(土)の2日間にわたり、富山県富山市において「北陸ブロック母と女性教職員の会」が開催されました。福井県から、保護者5名、教職員7名、本部2名、計14名が参加しました。オープニングでは手遊び歌を歌い、見知らぬ者同士が手をつなぎ一気に会場が和やかな雰囲気になりました。その後、「はだしのゲンを語って29年今ふるさと福島は」というテーマで、講談師の神田香織さんの講演を聞きました。神田香織さんは、福島県出身で震災後はNPO法人「ふくしま支援・人と文化ネットワーク」の理事として、精力的な活動を行っています。講談も一人芝居の要素を取り入れ、**あたかも空襲の様子**が目に浮かぶようでした。笑ったり、ほろっとしたりであったという間に時間が経ちました。



講談師の神田香織さん

2日目は、7分科会に分かれて、保護者と教職員が活発に意見交流を行いました。第3分科会「学校・地域・家庭」では、熊川小分会の小西晶絵さんが、「ふるさとを愛し、誇りに思う子どもを育てるために」のテーマで、地域と連携した学校のとりくみを発表しました。活発な意見交換につながる大変よい問題提起となりました。また、第1分科会では、松岡中分会の竹内文江さん・湯尾小分会の檀尾朗子さんがコーディネーターとして、第3分科会では、成器西小分会の齋藤弘江さんが記録として活躍しました。



第1分科会の様子
コーディネーター
松岡中の竹内文江さん
湯尾小の檀尾朗子さん



第3分科会の様子
提案者 熊川小の小西晶絵さん
記録者 成器西小の齋藤弘江さん



第5分科会の様子

<参加者の感想>

- ・ 障害のあるお子さんを育てるうえでの思いや学校・地域・教育委員会との関わりなどの発表でした。参加した方々の体験をもとにした本音の話し合いができて、大変充実した会でした。
- ・ 参加の方々の感想や実践をお聴きし、子どもたちへのふるさとと教育は人とのよい出会いや本物の体験を通して、子どもたち自身の根っこを育てる面で、学力向上以上に大切にしていきたい部分だなあと感じました。



参加者のみなさん

